

昌一金属支部機関紙学習会

機関紙づくりの「一層の充実のために」

昌一金属支部 N

九月二六日金曜日の定時後に、執行部・支部教宣部・港合同ニュース編集メンバーを対象に機関紙学習会を支部組合事務所で行いました。

講師に港新聞代表の飯



田さんにきてもらい機関紙作りについて教えてもらいました。

飯田さんは昔は印刷会社に勤めていて一九九七年に港新聞を創刊したそうです。一人で新聞を作っていてカメラ、文章、インタビューをこなしていると思っていました。

テーマとしては「紙面を見易くする」、「記事の質を高める」です。

「紙面を見易くする」ではポイントとして①見

出しで引きつける、②写真で引きつける、③写真説明で引きつけるの三点を挙げて具体的に説明をしていただきました。

「記事の質を高める」では、5W1H(いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように)を基本に、ルビを付けたり小見出しを入れるなど読みやすい工夫をして、文章も出来事の紹介だけでなく、記者の感受性や時代認識を入れて生き生きとした文章を心がけ、取材は事実の把握を基本に、参加者や裏方、第三者の声も汲み取って立体的に行う事、何よりも真実を伝えることが大事だと教

わりました。

とても難しい内容でしたが、参考にしていきながらこれからも頑張りたい「すくらむ」「港合同ニュース」を作っていければいいなあと思いました。

講師に来てくれた飯田さん、ありがとうございました。

